

人文・社会ご担当者様

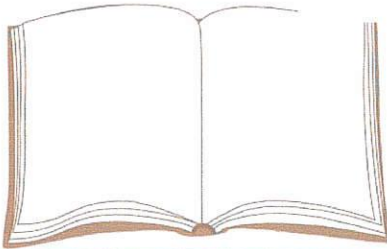


2021年3月12日金曜日 発売!

# 自然破壊と人間

野原 拓著

マルクス『資本論』の真髓を貫いて考察する!!



## 自然破壊と人間

マルクス『資本論』の  
真髓を貫いて考察する

野原拓著

脱炭素化の動きは何を意味するのか？  
マルクスのエコロジー的解釈の誤謬は何か？

プラズマ出版

いま堰を切ったように、日本や世界各国の支配者と資本家たちは「脱炭素社会の実現」を掲げて再生可能エネルギーの開発とこれにもとづく産業構造の大々的な再編にのりだしている。

この動きは、これらの支配者たちが、自分たちが資本の利潤を得るために自然環境を破壊し地球の温暖化をもたらしてきたことを反省し、心を改めたからなのだろうか。いや、決してそうではない。その証拠に、二酸化炭素を吸い酸素を吐き出す森林の破壊は止められてはいない。アマゾンの熱帯雨林はすでにその15%が消失した。

太陽光発電や水素燃料の開発が利潤を生む分野となったがゆえに、そこに利権を求める支配者たちと資本家たちが群がっているのであり、労働者たちは産業再編の犠牲にされようとしているのである。

斎藤幸平著『人新世の「資本論」』は、地球温暖化の原因は資本主義にあることを明らかにした。しかし、彼は、資本に搾取されている労働者たちが自覚し闘いの主体となるべきことを何ら提起してはいないのである。

現代世界の問題を明らかにするためには、マルクスと、これを受け継いだ黒田寛一の実践的唯物論を、そして『資本論』の真髓を貫徹して分析し考察しなければならない。

——これが、本書の著者の声です。

ご注文申込書	貴店番線印	注文数	発行:(株)プラズマ出版 Tel: 047-409-3569 Fax: 047-409-3730
			URL: <a href="https://plasmashuppan.webnode.jp/">https://plasmashuppan.webnode.jp/</a> Email: <a href="mailto:plasma.pb@outlook.jp">plasma.pb@outlook.jp</a>
			<b>自然破壊と人間 野原 拓著</b>
			四六判 284頁 定価: 2200円(本体2000円+税10%)
		冊	ISBN 978-4-910323-51-0 C 0036 ¥2200 E

ご注文は JRC へ → FAX. 03-3294-2177

JRC を経由してすべての取次に出荷が可能です。